

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部16円)

広報

たかのす

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

☎(2)一1111

発行日 毎月1日・15日

印刷所 幟秋北新聞社

〈町民憲章〉

緑を育て 環境をよくし

美しい町をつくります

No. 337・51・6・1

幼児たち大はしやぎ

綴子川でハヤを追う

五月晴れの五月十九日午後。

陸橋付近の綴子川で、就学前

の幼児を対象に「ハヤのつかみどり」が催されました。父兄や保母さんに連れられた幼児たちは、浅瀬の上下流に金網で仕切られた安全な場所、水しぶきと歓声をあげ、ハヤをつかまえようとはしや

ぎ回っていました。幼児にたいへん喜ばれたこの企画は、町のつり同好会のみなさんが、幼児に魚の生けどりのダイゴ味を楽しんでもらおうと計画したもので、会員が前もって米代川に産卵に

のぼってくるハヤを捕獲。当日はおよそ三百尾を放流したものです。幼児たちには、きっと忘れることのできない楽しい思い出となることでしょう。

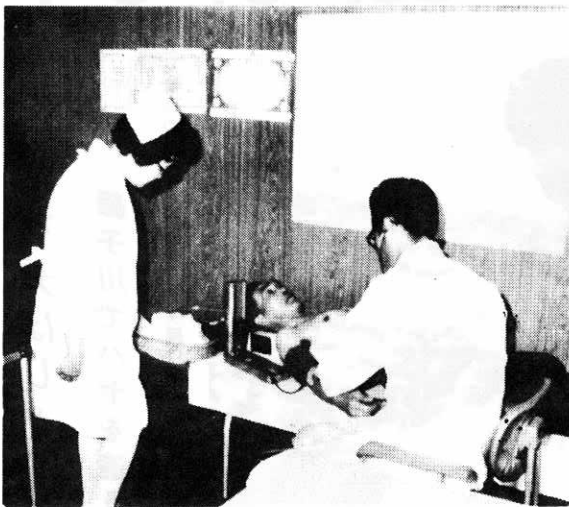
◇
◇
◇



竜森、坊山、二本杉で

へき地診療所がスタート

＝ 地域住民の健康管理に効果 ＝



▲坊山会館でのへき地診療

▼へき地医療特別対策事業として、去る五月十日の竜森地区を皮切りに……
 ▼坊山、二本杉でも「へき地診療所」が開設され、関係住民からたいへん……
 ▼喜ばれています。

町では、これまで住民の健康管理をすすめることから、無医地区を中心に保健婦の派遣や、医師の往診に対する往診車の補助等、その対策に力を入れ、医療の均衡を保ってきたところですが、通院の場合はどうしても一日がかりになるなど、関係住民からは「へき地診療所」の開設について強い要望がだされていきました。町では、こうした地元の要望にこたえるため、県のへき地医療特別対策事業とタイアップ、へき地三カ所で診療所

を開設したのです。

診療所を開設したのは、葛黒、与助岱、三の渡、黒森、松沢、明利又、上舟木、下舟木、深沢、吉ヶ沢の各部落民を対象に毎週月、木曜日の二回、午後二時から四時まで竜森保育園で、四渡、坊山、湯の岱部落を対象に毎週水曜日の午後三十分から午後四時三十分まで坊山会館で、二本杉、岩谷部落を対象に毎週火曜日、午後二時から四時まで二本杉会館で、それぞれ開設したものです。

また、へき地診療所の開設にあたっての担当医は、竜森が公立米内沢病院、坊山が佐藤外科医院、二本杉が戸島内科医院の、それぞれ協力を得ております。

診療所の開設により、ふだん医者にかかることができなかった老人や、軽度の病気で医者にかかるのがおっくうであった方も短時間で診療できるなど、地域住民からは大変喜ばれており、健康管理の面からも大きく効果があるものと期待されております。

ただいま工事中

〔橋梁新設工事〕

▽工事場所〓昭和橋 ▽請負額〓百六十五万円 ▽請負者〓朝日建設 小林正蔵 ▽工事期限〓六月三十日

〔道路改良工事〕
 ▽工事場所〓綴子、松原線（八毛坂）二百十二号 ▽請負額〓一千百円 ▽請負者〓堀井組 堀井三治郎 ▽工事期限〓七月三十日

〔道路災害復旧工事〕
 ▽工事場所〓七日市大畑 ▽請負額〓二百万円 ▽請負者〓長岐建設 長岐六郎 ▽工事期限〓七月二十日

〔町営住宅流し台取替工事〕
 ▽工事場所〓高野尻 ▽請負額〓二百五十万円 ▽請負者〓小塚建設 小塚金五郎

税の窓

自動車と税金

いまや自動車は、汽車やバスとならんで、私たちの交通の足となっています。

そこで、自動車を持った場合の税金についてみますと、国税としては、物品税、自動車重量税が、地方税としては自動車税、自動車取得税、軽自動車税があります。

また、自動車の燃料にかかる税金には、国税である揮発油税、地方道路税、石油ガス税と地方税である軽油引取税があります。

小型自家用乗用車で、車両重量七百五十、一千二百ccクラスのもの取得したときにかかる税金をひろって、その税額や税率をみますと次のとおりです。

▽物品税（国税）〓出荷価額の十五％
 ▽自動車重量税（国税）〓二万五千二百円
 ▽自動車税（県税）〓二万七千五百円
 ▽自動車取得税（県税）〓取得価額の五％

町長日誌

5月1日～5月15日

2日 鷹巣建設技能組合大運動会
 3日 鷹巣阿仁広域市町村圏組合管理者会議
 4日 鷹巣地区春の子ども大会
 5日 議会総務常任委員会
 6日 町民体育祭打さわおはよう野球開会式
 7日 公民館定期講座開講式
 8日 町内各小学校運動会
 9日 結核予防婦人会大会
 10日 町議会臨時会
 11日 町内道路視察
 12日 議会総務常任委員会
 13日 森吉町外四カ町村病院組合議会臨時会
 14日 鷹巣町子ども会育成連絡協議会総会
 記者クラブとの懇談
 鷹巣町内交歓陸上競技大会
 鷹巣阿仁広域市町村圏組合臨時総会
 北秋田郡町村会臨時総会
 教育委員会
 町議会臨時会
 五一会・中央公園植樹



第4回臨時町議会

第4回臨時町議会は、4月30日から5月15日までの会期で開かれましたが、5月11日と15日に決定した議案は次のとおりです。

町税条例を一部改正

町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴う、町税条例の一部改正です。
今回の改正は大きくわけて、
①町民税(個人、法人)の均等割の引上げ ②評価替に伴う固定資産税の負担調整措置、
③軽自動車税の税率の引上げの三点ですが、その改正内容は次のとおりです。

町民税均等割 個人七百元に

町民税の均等割が二百円から七百元に改正となりました。なおこの改正で、一定低所得(七十万円)以下の人に対しては、均等割を課税しないことになりました。

また法人については、資本金額および従業員数により、それぞれ改正されております。

評価替による 上昇分を調整

固定資産税については、今年度が三年に一回の固定資産(土地、家屋)の評価替の年にあたり、それぞれの資産については再評価を行っているますが、これにもない場所によっては大幅な税負担となる

ところもあるもので、その負担を軽くするため価格の上昇割合によって、負担割合を調整しようとしたのが今回の改正の主な点です。

そこで五十一年度の宅地の税金を出す場合は、五十一年度の評価額が五十年度の課税標準額に比べ、例えば一・五倍の上昇率の場合は、五十年度の課税標準額の一・二倍、また、一・七倍を超える場合は、一・三倍を五十一年度の課税標準額とします。

五十二年、五十三年度は前年の課税標準額にこの調整率を用いて課税標準額を出します。

ただし、この間に評価額に達したものは、評価額で定めることとなります。

軽自動車税は 約30%の引上げ

軽自動車税について、その税率が長期にわたり据え置かれていたが、道路の維持管理費が増大していることなどが考慮され、標準税率が三十%(営業用十五%)程度引き上げられました。

従来、自脱型コンバイン乗用装置を有するものについては、小型特殊自動車のうち農耕作業用自動車以外の「その他のもの」の税率を適用することとされていましたが、その使用の様子が一般大衆化され、農耕作業用自動車と同じ

税率(現在一千三百円)を適用することが適当と考えられ、五十一年度から農耕作業用自農車に含めて扱うこととされました。

なお、これに関連して、今年度から自脱型コンバインは月割課税の対象から除かれました。

五十一年度一般会計補正

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ六百三十四万七千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は二十六億五千二百四十二万九千円となりました。

歳出は、民生費の児童措置費に七百三十六万一千円の追加、災害復旧費で一百一十四千円を減額しております。また、災害復旧費において継続費の変更と、作付に間に合わせるため、農地五十五カ所、農業用施設四十二カ所の五十一年度分災害復旧費七千九百七十九万二千円を債務負担行為補正をしております。

五十一年度七日市財産区特別会計補正

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ二百二十五万七千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は二千二百九十八万三千円となりました。歳出は、全額根小屋沢地帯および植付費に、歳入は、拡大造林補助金一百六十九万五千円、立木売却五十六万二

千円。

五十一年度栄財産区特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一百万円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は一千四百二十一万九千円となりました。歳出は、苗圃跡地を開田する土地改良工事費一百万円。歳入は、土地売却収入一百万円。

育児休業に係る給与等に関する条例制定について

義務教育諸学校等の女子教育職員および医療施設、社会福祉施設等の看護婦、保母等の育児休業についての取扱いおよび必要事項について定めたいものです。

否決となった議案

栄財産区有地の財産処分について

町議会会派に変更

町議会の会派に所属しておらなかった次の三議員が、あらたに次のとおり加入届けをしました。

成田久和、佐藤時治の両議員は町政研究会に。

山田米治議員は新政クラブにそれぞれ加入。町政研究会は九人、新政クラブは四人となりました。

議会 日誌

5月1日～5月15日

- 6日 総務常任委員会
- 7日 建設水道、教育民生各常任委員会
- 8日 建設水道常任委員会
- 10日 町議会臨時会
- 12日 総務、産業経済各常任委員会
- 14日 北秋田郡議長会
- 15日 町議会臨時会

各分館長を任命

教育委員会では、任期満了にもなう公民館分館長を次のとおり任命しました。

任期は、五十三年三月三十一日までの二年間。

- ▽綴子分館長 佐藤 正
- ▽栄分館長 松尾精一
- ▽坊沢分館長 佐藤政五郎
- ▽七座分館長 戸田貞雄
- ▽沢口分館長 小原 清
- ▽七日市分館長 佐藤福治

町民税の

第一期納期限は、

6月30日まで

国民年金

付加年金に加入しよう

高い年金がもらえます

「若いうちにもう少し多く掛け金を納めてもいいから、老後にはもっと高い年金がほしい。」という人のために、付加年金の制度があります。この付加年金に加入しますと、毎月掛け金のほかに月四百円の掛け金を納めることになりますが、将来それだけ上積みされた高い年金をもらうことができます。

「豊かな老後」のため、そろって加入するようおすすめします。

▽加入できる人
国民年金の加入者で、掛け金の免除を受けている人以外は、どなたでも加入できます。（農業者年金の加入者は、加入が義務づけられています。）

▽加入の方法
役場の年金係に印鑑を持ってゆくだけで、いつでも簡単にできます。掛け金を納めた期間が長ければ長いほど、それだけ高い年金が受けられますので、加入は早いほどおトクです。

児童手当の現況届

6月30日まで 役場福祉課へ

家庭生活の安定と児童の健全な育成、資質の向上を図るための一つの制度として、児童手当制度があります。この制度によって町から児童手当の支給を受けている方は、ことしの四月末現在で三百六十名に達しています。この制度によって児童手当を受けている方は、すべて年一回六月一日から同三十日まで

「児童手当現況届」を役場に提出しなければならなりません。この児童手当現況届によって、町では、児童手当の支給を受けている方の前年所得の状況、児童養育の状況等について確認をし、引き続いて児童手当の支給を受けることができるかどうかをみることになっています。

もし、この届を出さないと、引き続き支給を受ける資格があっても、六月分以降の児童手当の支給を受けることができなくなりますからご注意ください。

児童手当を受けることができる人は

十八歳未満の児童を三人以上養育しており、そのうち一人以上が義務教育終了前（中学校を卒業するまで）の児童であれば支給されます。

なお、この児童手当は、各種の福祉年金や児童扶養手当などを受けている人でも支給されます。

児童手当の額は

児童手当の月額は、三人以上の児童のうち、出生順に数えて三人目以降の児童で、義務教育終了前の児童一人につき五千円です。

なお、児童手当の支給、その他この制度についてわからないことがあれば、役場福祉課福祉係にお問い合わせてください。

中島、三沢の両氏が総理大臣表彰

脳神宇川口農業中島喜代治氏（66）と織子宇大堤役職員三沢富士雄氏（36）の二人が、統計調査員としての功績が認められ、総理大臣表彰を

伝達を受ける両氏



受彰、このほど出川町長から表彰状と記念品が伝達されました。

中島さんは国勢調査、三沢さんは事業所統計調査の功績による表彰でしたが、県内で総理大臣表彰は、国勢調査関係で二十一人、事業所統計調査関係では二人だけでした。

青山さん防犯功労で警察庁長官表彰



坊沢青山末吉氏（50）が、防犯功労者として五月十一日東京平河町麹町会館で行われた全国防犯協会連合会の総会

で、同会々長、警察庁長官から秋田県ではただ一人、表彰されました。青山さんは、永年にわたって防犯活動に従事、現在は町防犯組合副会長、坊沢地区支部長を努め、これまでも防犯功労者として県警本部長、県防犯組合連合会長、東北管区表彰などを受けております。

石岡さんに東北行監局長表彰



東住吉町行政相談員石岡喜正氏（59）は、五月十四日秋田市合同庁舎で行われた県行政相談員総会で、相沢正文東北管区行政監察局長から感謝状が贈られました。

石岡さんは、昭和四十年から行政相談員として職務に精励、行政の民主化と能率化にとくに功績をあげており、昨年は秋田行政監察局長から表彰を受けております。

たばこは町内で買います





▲七夕に灯ろうを作り町内を練り歩く……

心が触れ合う

三吉町内会

会員が、目を輝かせながら
会合に参集する町内（部落）
は、そんななにかと思います。
その数少ない中の一つ、三吉
町内会を紹介しましょう。

こうして町内会が

「近所の人たちと語り合い
たいものだ」と、みんなが考
えていたのだと思います。そ
んな時に、種苗交換会の出店
が町内に張られることになり
四、五人の発起人の呼びかけ
が契機となって今の町内会が
できました。

みんなの広場



みんなの広場は町民みなさ
んの対話の場としてご利用い
ただく欄です。ぜひあなた
のご意見、ご感想、作品、部
落内の出来ごとなど、どしど
しお寄せください。
あて先は鷹巣町役場総務課
広報係、お待ちしております。

会を結成してみたら、どの
人も純情で明朗で、互いに話
相手を欲していることを知っ
たそうです。「ヤア、久しぶ
りだな」であいさつを交
わす情景が随所に見られ、こ
うして町内会が動き出したの
です。

しつかりした組織

約五十五世帯の会員が、会
費月額二百五十円を納入し、
総会で予算決算、事業計画を
承認、役員を選任等を行います。
教養部、体育部等、五つの
専門部を設けて、会員はいず
れかの部門に所属する。一つ
の部が、部長以下十人ぐら
いで活動を始め、しだいに会員
意識が形成されていくのです。

心の触れあいを

この町内の動きには、「み
んなの和をはかろう」とする
熱意が行事の中ににじみ出て
いる点に、大きく注目させる
ものがあります。
○：元旦に神社参拝後、ニコ
ニコ初顔合わせの名称で大人

はお神酒をいただき、子供た
ちは福引きを引いて歓談する。
○：ふるさと意識を強めたい
と、七夕に子供たちのため大
きな灯ろうを作って町内を練
り歩く。
○：親子の交流を深めようと
夫婦づれで体育館に向いて、
子供とバレー大会をし、ある
時は野球大会をする。

○：隣の太平町と一緒に大き
なしめなわを作って、町内の
三吉神社に奉納する。

○：食堂を経営している会員
を講師にして調理教室を開く。
○：消費生活、保健生活に関
する学習をする。

○：ダンス講習、盆踊り、忘
年演芸会を開く。
もちろん、毎月役員会を開催
する。

町内会ニュース

互いの心を結びつける役目
を、この町内ニュースが果し
ています。二十四号まで続い
ているこのニュースには、主
な行事や時には忘れ物のお知
らせまでがのっています。
編集にあたっては大川会
長は、毎月の発行に意欲を燃
していました。

三吉町内会はこうして生ま
れ、こうして育ちつつありま
す。
しかし、わが鷹巣町には、
もつとすばらしい町内や部落
があるに違いありません。
単に、会計処理のために会

合するのではなく、「町内（部
落）をよくするために」「自
分たちの悩みを解決するため
に」独自の活動が、あちらに
もこちらにも高まって欲しい
ものです。

公園作りに励む

岩脇若勢会

七日市岩脇部落の十八歳か
ら四十歳までの農業後継者で
作っている若勢会（岩本吉雄
会長）では、部落民のいこ
いの場をつくろうと公園作りに
励み、多くの人達から喜ばれ
ています。

公園作りをすすめているの
は、岩脇地内、旧国道ぞいの
吉野学園東方二百メートルの
現場は周囲三百メートルの沼、そ
れに附近には松、芝生がはえ、
山菜とりなどで山に入る人達
には絶好の休憩場所として親
しまれています。

岩脇若勢会の人達は、同所
をもつと多くの人に利用して
もらおうと公園づくりを始め
たもので、このほど長さ二
メートル、ソメイヨシノ八十本を植
樹するとともに、一下台が駐
車できる駐車場づくりの努力
奉仕を行ったのですが、こ
れからは同所を訪れ、散策す
る人も多くなるものと、多く
の人達から感謝されています。



▲公園場作りに励む岩脇若勢会のみなさん

中国から高井哲子さん

三十一年ぶりに里帰り

▼……昭和二十一年の終戦の混乱の中、中国大陸で両親と別れ別れになり、……
▼……これまで中国で暮らしていた本町出身の高井哲子さん(39)が帰国、三……
▼……十一年ぶりに親子の対面をしました。

住吉町、縫製業高井貞助さん(72)は、昭和十七年に一家で田満州丹壮江市に渡り、洋服仕立業を営んでいましたが、終戦直前になって高井さんと長男英敏さん(50)は現地召集され、シベリアへ抑留

妻のイサさん(66)と残された四人の子どもは吉林市の収容所に移されたが、二十一年六月、哲子さん(当時八歳)

は遊びに出かけたまま行方不明となり、家族が八方手をつくして捜したがついにみつからず、同年八月、高井さん家族に引き揚げ命令が出て、哲子さん一人を残して中国を離れました。

高井さんは、引き揚げ後も毎日のように「哲子はきっと中国で生きている」と信じ探し求めていましたが、昨年八月、厚生省が大々的に行った中国の孤児探し運動の名簿の中に申家光さんという名前があり、哲子さんの幼い時の特徴にそっくりだったことから身元の確認がなされ、発見することができたのです。

その後、高井さんと哲子さんは十数回にわたり航空便を飛ばし、近況を知らせ合い、一日も早い再会が待たれていたものです。

哲子さんは、五月十八日午後三時に羽田着、十九日午前八時三十分着の「あけぼの」で鷹巣駅に到着、羽田に出迎えた兄さんの英敏さんと長旅の疲れもみせず、元氣な姿をみせ、駅頭に出迎えた出川



▲出川町長の出迎えを受ける哲子さん

町長を始め町民多数の温かい歓迎を受けました。
なお、哲子さんは、中国吉林省磐石県印刷廠に夫と勤務、五人の子どもに恵まれており、本町への滞在期間は、バスポートの切れる十一月中旬までの予定です。

公民館定期講座始まる

去る五月八日午後一時から、公民館で本年度の定期講座開講式が開催されました。

本年度からは、あらたに家庭園、和裁、家庭法律、民謡舞踊の四つを加え、十八講座、二百三十二名の受講者をもって歩み始めました。

また、開講式では「人生と趣味」と題し、秋田放送報道局長石川嘉明氏の講演があり、参会者に深い感銘を与えました。

盆栽展示会

町の盆栽愛好会では、六月十二日午前九時から十三日午後三時まで、鷹巣町公民館三階で盆栽展示会を開きます。展示される盆栽は、さつき、松、雑木など、およそ百点の展示が予定されており、愛好会では多数の参観を望んでいます。

第四回環境週間

六月五日から十一日まで

ふるさとの川をきれいに!!



綴子川クランアップ作戦

6月5日午前5時から6時30分まで(綴子川陸橋下)

町民多数の参加を!!



三沢(博)さん



村上 さん



沢 田 さん



佐 藤 さん



三沢(幸)さん

七月十二日から二週間にわたって、ソ連各地を回る県青年海外研修団員に四名、同指導団員に一名が、本町からきました。

団員にきまっていたのは、モスクワコースに綴子字大堤会社社員三沢幸美さん(27)、脇神

モスクワとシベリアへ

三沢君ら5名きまる

字圃の内農業佐藤文信さん(24)、前山字後長根会社員沢田喜奈子さん(24)の三人。シベリアコースには綴子字大堤農業三沢博隆さん(26)、それに指導団員の公民館主事村上憲一さん(35)の二人。沢田さんらは、七月十二日ソ連船「ハバロフスク」で秋田港を出発、十三日ナホトカ港着、十四日はハバロフスクで日本人墓地参拝や市内見学、十五日にモスクワコースとシベリアコースに別れ、それぞれ各都市の視察見学やソ連青年との交流を通じて、国際的視野を広めることになっております。

帰りは、両コースが二十三

日にハバロフスクで合流、二十四日ナホトカを出港、二十五日秋田港に着くことになっております。

あなたも参加を!!

基礎からゲームまで

鷹巣体育館では、五月から次の方々に体育館の指導員をお願いしています。

指導員は、基礎からゲームができるまで親切に指導してくださる方たちですので、大いに活用してください。

なお、各種目の練習日は次のとおりですが、体育館のまは自由に開放しています。

時間は、体操の午後一時を除きいずれも午後七時から。▽バレーボール(月)▽細田敏明、武藤優悦

▽家庭バレーボール(月)▽小塚マチ子、長崎八重子

▽卓球(火)▽笹淵文也、中島一義、津谷和暁

▽フットボール(火)▽近藤次夫、佐藤周治

▽バドミントン(木)▽藤原勲、遠藤昭夫

▽バスケットボール(金)▽萩野末治、佐藤忠裕

▽体操(土)▽河田昭治、佐藤淳子(対象者は小中学生)また冬期間は、▽屋内テニ

北海道からつつじの贈り物

北海道陸別町に住む山内朝之進さん(54)から、このほどエゾムラサキつつじとエゾシロつつじ百本が町に贈られてきました。

山内さんは、旧満州で終戦、シベリアに抑留され昭和二十三年六月、出川町長と一緒に引き揚げ、一月ほど糠沢の親せきに滞在、その後、北海道で営林署に勤務をしているのです。

山内さんは、この四月に十数年ぶりに本町を訪れ、出川

町長にこの地方ではめずらしいエゾつつじの苗木を贈ることを約束していたものです。町では、贈られたつつじの苗木を役場前の花壇に六十本と、各小学校にそれぞれ四本ずつ植え、たんせいこめて育てることにしております。

青い羽根募金

今年もまた、子どもたちの水死事故が多くなる時期となりましたが、これらの痛ましい事故は、救難器具の備えつけや、地域のみなさんの予防活動によって防止することができそうです。

これらの事業を進める資金の一助とするため、今年も「青い羽根募金」を行うことになりました。

本町では、協力員の方々にお願いして募金活動をいたしますので、昨年にまさるみなさんの協力をお願いします。「青い羽根募金」は、プー

各種技能免許試験

秋田労働基準局では、労働安全衛生法に基づくボイラー技士、溶接士、整備士、クレイン運転士、ガス溶接、衛生管理者などの試験を行います。申請など、くわしいことについては秋田労働基準局安全衛生課(秋田六二一六六八二)にお問い合せください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出生を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。六月は、▽八日▽七座、坊沢地区▽二十二日▽綴子地区となっております。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

交通事故調

5月15日現在

	件数	死者	傷者
本年	9		10
前年	15		21

酒よい運転者

地区名	本年	前年
鷹巣	9	4
七座	2	1
坊沢	4	3
綴子	3	5
栄	5	4
口	6	4
七日町	3	3
他	7	8



おしらせ

六月の健康相談

六月の各種健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、九日と二十三日です。

時間は、午前十時から午後三時まで鷹巣町公民館保健相談室で行います。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査なども行います。

◆ ◆

フツサイオンむし歯予防は、九日と二十三日です。

時間は、午後一時から午後三時まで鷹巣町公民館保健相談室で行います。

対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

◆ ◆

乳幼児健康相談は、▽三日 〓五十二年二月生まれ ▽十七日 〓五十年五月生まれとなっております。

受付時間は、午後十二時半から午後一時半まで、鷹巣保健所で行います。

▼五十年十一月生まれの乳児を対象に、十六日離乳食実

習指導を行います。

時間は、午前十時から鷹巣町公民館調理室となっております。

◆ ◆

妊婦健康相談は、十四日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。鷹巣町公民館保健相談室となっております。

なお、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

予 防 接 種

生後二十四月から四十八ヵ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

ただし、二十四ヵ月(二歳)から三十ヵ月(二歳半)までの方は、第一期として四ヵ月間隔で三回の接種を完了し、そのあと、十二月十八ヵ月以内に第二期の追加接種を一回行います。

なお、対象者で第一期、第二期の接種を完了している方は除きます。以前に接種しているかどうかは、母子手帳を

ご覧ください。

接種日は、鷹巣地区以外の方は九日、鷹巣地区の方は十日。

時間は、午後一時から午後二時まで鷹巣町公民館保健相談室で行います。なお、おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

不幸な子どもを
生まないために

風疹の検査を!!

風疹が、昨年五月以来県内各地で流行しております。

風疹は、小児の発疹性感染症の一つで、「三日はしか」と俗称され二〜三日で全治する軽い病気ですが、風疹の免疫をもっていない妊婦初期の妊婦が感染した場合、白内障、難聴、心疾患などをもち異常児が生まれやすいたことが明らかにしております。

最近行った調査では、県内の二十歳以上の婦人ではおよそ九十%の方が免疫をもっており、妊婦が風疹にかかると心配はまずありませんが、念のため二十五歳未満の妊婦中の方、または予定している方は風疹の検査を受け、丈夫な赤ちゃんを生んでください。

ご希望の方は、毎週月曜日午前九時三十分から午後二時まで、鷹巣町公民館保健相談室で受付いたしますので、一

千八百円を添えて申し込みください。

受診または採血医療機関は、町内病・医院産婦人科。

母子手帳の交付は
毎週月曜日に、公
民館健康相談室で

香 典 返 し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

▽太平町 〓戸島徳一さんから亡母サンさんの香典返し

一〇、〇〇〇円

▽相善町 〓成田政則さんから亡父政三郎さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽北新町 〓近藤多市さんから亡妻リエさんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽大野尻 〓津谷明美さんから亡夫一二三さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽あけぼの町 〓長岐哲行さんから亡父公平さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

慶弔だより

5月1日〜5月15日

誕生おめでとうございます

小塚宏樹(英一長男) 南鷹巣

成田加奈子(正造長女) 緑ヶ丘
布田 守(鶴松二男) 品類
近藤重紀子(信夫二女) 材木町
明石孝仁(慶悦二男) 明利又
村井研二(記夫二男) 米代町
成田幸子(光義長女) 太田
茂内博哉(忠幸長男) 中岱
三浦昇子(亮二長女) 花園町
柳山あけみ(恒勝二女) 西横町
高橋由香子(実長女) 上町
工藤千春(輝雄二女) 米代町
堀内里奈(芳男長女) 南田中
佐藤理佐子(俊夫長女) 吉ヶ沢
藤島重希子(昭次二女) 太田
木村一朋(秋雄長男) 学校通

二人の前途を祝福いたします

伊藤 登 掛泥
小林 加代子 田代町
金光寺 田代町
明石 結子 前野団地
伊藤 武夫 妹尾館
佐々木 恵美子 南鷹巣
伊藤 雄悦 新旭町
小藤 美保子 新旭町
佐藤 嘉徳 摩場
柏木 孝子 舟場
佐藤 久夫 西住吉町
佐藤 敏子 新旭町
金沢 勝好 神奈川県
北林 由美子 高野尻
出川 雄一 糠沢
岩谷 洋子 田代町
八木橋 薫 青森県
仲谷 ミサ子 今泉
川名 良一 山形市
長岐 由紀子 七日市
河田 和利 吉野
庄司 ユキ子 七日市

(4月30日現在 住民基本台帳)

	前月比	
総人口	25,146人	84人減
男	12,254人	24人減
女	12,892人	60人減
世帯数	6,974世帯	8世帯増



藤島オノエ(83) 舟見町
宮腰 耕一(73) 品類
三沢 浅蔵(49) 西仲通
武藤 テツ(79) 糠沢
成田 テツ(68) 今泉
近藤 与七(44) 新旭町
田村賢一郎(43) 下沢
相沢 初也(49) 旭町
岩谷 利市(68) 摩場
沢田直之助(70) 小田
明石 スエ(73) 明利又
三沢 イマ(77) 松葉町
嶺脇 健徳(80) 坊沢大町
桜井 綾子(58) 堂ヶ岱

おくりやみ申しあげます